時間経過に伴う棄翅虫の探索行動変化

160527 水元惟暁

Methods

実験1 歩行パターンの時間経過に伴う変化。

1, 使用コロニー X (GPS98, 岩倉), Y(GPS102, 花背峠), Z(GPS117: フジタ, 百井)。

2, 群飛後、単独にし、30分間ANTAMによるトラッキング。

3, トラッキング前に体重を測る。（98の1日目だけ、後からまとめてになってしまった。）

4, トラッキング以外の時間は、やすり掛け90mmシャーレの中に、湿らした濾紙(70mmの1/4)とともに、16L8Dの条件で静置。（トラッキングはLの間に行う。）

実験2 時間経過に伴う体調変化

1, 使用コロニー X (GPS98, 岩倉), Y(GPS102, 花背峠), Z(GPS117: フジタ, 百井)。

2, 群飛後の個体の生重を測り、冷凍（のちに乾重を計測） 各コロニー各性8個体。

3, 単独で、やすり掛け90mmシャーレの中に、湿らした濾紙(70mmの1/4)とともに、16L8Dの条件で静置し、3日経過個体を作成する。

4, 同様に3日経過個体の生重を測り、冷凍（のちに乾重を計測） 各コロニー各性8個体。

実験3 時間経過に伴う創設後のコスト

1, 使用コロニー X (GPS98, 岩倉), Y(GPS102, 花背峠), Z(GPS117: フジタ, 百井)。

2, 群飛後の個体を用いてコロニー創設。培地(コナラクヌギ発酵マット:セルロース=1:1)を詰めた40mmシャーレで創設。非ネストメイトペアで各5繰り返し。

♂♀： XY, XZ, YX, YZ, ZX, ZY 各5 rep

3, 実験2と同様に、3日経過個体を作成。

4, 同様に3日経過個体を用いて、コロニー創設。